

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所 [担当：奈良井]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

平成23年度 病害虫発生予察情報 特殊報第3号

平成24年3月14日
島根県

1 病害虫名 : キキョウトリバ *Stenoptilia zophodactylus* (Duponchel, 1840)

2 発生物種 : トルコギキョウ

3 発生確認場所 : 安来市

4 発生確認の経緯

1) 平成23年8月に安来市のハウス栽培のトルコギキョウ圃場において、花蕾に穴をあける害虫が発生しているとの報告を受けた。現地調査した結果、チョウ目と思われる幼虫による花蕾の加害を認め、幼虫と蛹を採集し、室内で羽化させたところ、トリバの仲間と思われる。標本の同定を豊田市矢作川研究所の間野隆裕氏に依頼した結果、キキョウトリバと判明した。

2) 本虫はリンドウ科の植物を加害する。日本では1975年に福岡県のトルコギキョウで採集されて以来、公式な採集記録はない。

3) 発生面積は4a、被害株率は15%、被害花蕾率は2%であった。

5 形態及び生態

成虫は開張16~23mm、幼虫の体長は10~11mm、蛹の体長は9~11mm、卵は長さは0.4mm・幅0.25mmである。

詳しい生活史は明らかではない。採集時の観察によると、卵は花蕾上に1卵ずつ産みつけられ、幼虫は花蕾に穿孔し、茎や葉上で蛹化する。

6 被害の特徴

花蕾に穴をあけて侵入し中を食害する。被害を受けた花蕾は商品価値がなくなる。

7 寄主植物

本種の寄主植物はリンドウ科の植物である。

8 防除対策

1) ハウスの場合開口部に寒冷紗を張り、成虫の侵入を防ぐ。

2) 本種に対する登録農薬はない。



成虫(間野隆裕氏撮影)

図1 キキョウトリバの形態(左:成虫、中:老熟幼虫と卵、右:蛹)



図2 キキョウトリバ
(幼虫)による被害